



ニュース 2021年

3

月号

発行日： 2021年 2月 28日
発行者： カトリック横須賀三笠教会
TEL： 046-823-0042
FAX： 046-823-1031

e-mail : mikasa-church@aqua.ocn.ne.jp



せいかつ しんこう ゆうり お あ つづ
「生活と信仰の遊離」と向き合い続けて

みかさきょうかい しゆにん さいい はまさきさま
三笠教会 主任司祭 浜崎眞実

<AsIPA プログラム>

わたし じょかい う ねんごろ ねんごろ なごや にほん けんしゅう
私が叙階を受けた1995年頃から2000年頃までは、名古屋に「日本カトリック研修センター」がありました。年に一、二度その研修に参加していました。1997年には大阪教区で働いている神学校時代の恩師から誘われてAsIPA(アシパ)という研修プログラムにも参加しました。FABC(アジア司教協議会連盟)の開発したものです。最初は名古屋の研修センターで通訳付きで、フィリピンや台湾、インド、マレーシアなどから講師が来て、5日間ワンセットで3、4回のワークショップ形式のトレーニングがありました。そこでは教会が復活したキリストを中心とした共同体であることを意識するため、「7ステップ法」というみことばの分かち合いを大切にします。そしてキリストから託された使命を教会が果たしていくために、リーダーシップのあり方など様々な見直しのプログラムが用意されていました。その後フォローアップで2000年にフィリピンで10日間くらいの研修にも出向きました。そこではアジアの様々な国から集ってました。「参加する教会 (Participatory Church)」というテーマが掲げられていました。聖書を開くことを大切に、どのセッションでも「7ステップ法」によって福音の分かち合いがありました。ちょうどエストラーダ大統領の汚職の問題で騒いでいる時でした。主日の福音の分かち合いをしてそのあとデモ行進をしたのを思い出します。王であるキリストの主日でした。福音の箇所に合わせて各自

がプラカードを掲げ、シュプレッヒコールもある行列でした。もちろんフィリピンと日本では歴史や文化や様々な環境は異なっていますが、生活と信仰が繋がっているか遊離しているのかは歴史や文化などの違いで済ませていいことではないでしょう。

主日のミサも、福音朗読の後、司祭の説教ではなく、劇でした。しかし福音書の物語をそのまま劇にするのではなく、日常生活の出来事を劇にして、その後福音の物語とどのように関係するのかを対話形式で分かち合っていました。こういうやり方は「コード」と「デコード」というらしいです。ミサはもちろんタガログでやっていて、英語の通訳がありましたが、タガログは全く分からず英語も1割程度しか理解できない中でも、福音は生活と結びついて語られるものだと実感したものです。

<「秘跡と準秘跡」の関係を「教会と準教会」と見なして>

伝統的にカトリック教会は秘跡を「目に見えない神の恵みの目に見える効果的なしるし」と定義し、キリストとの出会いの場と理解し、それを大切にしてきました。第二バチカン公会議では7つの秘跡だけでなく教会も秘跡として「根源的秘跡」と呼びます。それを展開してみことばの分かち合いを「準秘跡(quasi sacramentum)」と位置付けたプログラムでした。この研修を受け実践を試みましたが、日本の小教区ではそのままの適応は困難と判断しました。洗礼を受けた人があまりにも少数でしかも地域でもつながりがつくれないので、小共同体

(BCC[Basic Christian Community キリスト教基礎共同体])にならず、福音の分かち合い

をするのが困難なのです。私の担当していた小教区でもちょうど「班集会」あるいは「地区(集)会」と呼ばれる家庭での集会も継続が難しくなっていました。そこで、この準秘跡という考え方を教会に適応して、地域社会の中で社会正義や平和と人権に関わる活動をしている人

たちとの交わりの場を「準教会(quasi ecclesia)」と見なして地域の人たちと活動し、その体験を福音書に描かれているイエスの姿に照らして分かち合う実践を試みてきました。それが

私なりの生活と信仰の遊離を克服しようとする取り組みです。なぜなら復活したキリストから託された使命は社会正義とか人権や平和を実現することだからです。日曜日の教会を心の平安の場所にしたい人には迷惑でしょうが…。プロテスタントでは「社会派と福音派」カトリック

では「福音派あるいは社会派と典礼派」なんてカテゴライズされているようですが、人間の命に関わること＝人権を尊重する活動は社会活動ではなく信仰の実践だと私は理解しています。「解放の神学」で有名なペルーの G.グティエレス神父も「隣人への回心と神への回心は同じことである」(＝教会堂に来て敬虔さをもって神に祈る人が、人間がおろそかにされている現実に目を背けているのはイエスの弟子としての生き方や信仰とは別物)と語っていたように記憶しています。同じようなことを辛口のフランス人の神父は「小教区はイエスの弟子を育てない」とか「教会に来る人は、“教会大好き。でもイエスは大嫌い”という人がほとんど」ともよく語っていました。

＜「聖書と典礼」から「聖書と社会」へ＞

教会委員会で、これまで「地元(横須賀市)の地域において、三笠教会の宣教の課題は何ですか」と何度か問いかけていますが、なかなかそこに焦点が当たって話し合うことには至りません。「生活と信仰の遊離」という課題は、私が神学生時代の1987年にあった「NICE1」(福音宣教推進全国会議)のテーマでした。あれからだいぶ時間が経って、日本の教会自体が内向きになり、典礼においては主日のミサでのローソクの本数とか、祭壇に接吻か両手をつけて敬意を表すようにとか聖体奉仕者の仕種を規定したりすることにエネルギーを使っています。「聖書と典礼」という冊子は知らない人はないくらいに普及していますが、「聖書と社会」という冊子は存在もしないし、そういう枠組みで見ることすら殆どないようです。目に見えない神の恵みを体験する場所は秘跡だけではありません。聖トマス・アクィナスは「神の恵みは秘跡に限定されない」とも言っています。生活の場で働いている神の恵みに気づくためにも、「聖書と社会」という枠組みで信仰を見直すことが信仰理解の行き詰まりを突破させてくれると確信しています。それは、古くからなされている「生活の中で聖書を読む」とか「生活を通して聖書を読む」という実践です。ブラジルの聖書学者の C.メステレスは「神が最初に書いた書物は、＜生活の書＞だけど、人類がそれを読み取れなかったのが第二番目の書として＜聖書＞を書いた」と述べています。

AsIPA: Asian Integral Pastoral Approach の略。アジアの多元的な状況で、復活したキリストを中心として全ての人が参加する共同体(＝教会の新しいあり方)に向けて、部分的でなく総合的で具体的に取り組む研修プログラムです。



きょうかい いいんかい
2月の教会委員会

かいさい きょうかいいんかい ほうこく
2月7日(日)に開催された教会委員会の報告です。

てんれいれき ぎょうじ
I. 典礼暦と行事

しゅ ほうけん
2月 2日(火) 主の奉献

ふくいんせんきょうぶかい
6日(土) 福音宣教部会

てんれいぶかい
7日(日) 典礼部会

しんぶさまじょかい しゅうねんきねんしきょう
11日(木・祝) カンペンハウド神父様叙階70周年記念司教ミサ

はい すいようび
17日(水) 灰の水曜日 ミサ 10:00

ふくいんせんきょうぶかい
3月 6日(土) 福音宣教部会

てんれいぶかい
7日(日) 典礼部会

はる ついとう そうげんじ ぼち
20日(土) 春の追悼ミサ 10:00 曹源寺墓地にて

じゅなん しゅじつ
28日(日) 受難の主日

きょうぎじこう
II. 協議事項

やくわりぶんたんひょう かいてい
1. 4月から「役割分担表」を改訂いたします。

じおしつ
2. 4月からの事務室について

まいしゅうにちようび ひら
毎週日曜日:9:00~12:30まで開いています。

へいじつ げんそくひら ひつよう おう たいおう
平日:原則開きませんが、必要に応じて対応いたします。

きょうかいいんかいほうこくかい ふっかつごかいさい よてい
3. 2021年教会委員会報告会は、4月のご復活後開催を予定しています。

た
III. その他

ちゅう たかはし わか しき おこな
2月28日(日)ミサ中にシスター高橋のお別れ式を行います。

じかいきょうかいいんかい
次回教会委員会 2021年3月7日(日)11:15から

はい すいようび
灰の水曜日

はい すいようび
2月17日(水)は、灰の水曜日でした。
れいねん みず ね はい しんぶさま ゆび ひたい
例年は水で練った灰を神父様に指で額につけていただく
ことし かんせん さ あたま
ところ、今年はコロナウィルス感染を避けるため、頭 のてっぺん
はい か
に灰をひとつまみ掛けていただきました。



し じゅんせつ だんじき だいさい しょうさい
四旬節 断食(大齋・小齋)とは？

ふっかつさいまえ じゅんびきかん し じゅんせつ よ ふる ふっかつさい せんれい う しがんしゃ
復活祭前の準備期間を四旬節と呼びます。古くから、復活祭に洗礼を受ける志願者の
ちよくぜん じゅんびきかん かんが せんれい う しんじゃ きかん
直前の準備期間と考えられてきました。また、すでに洗礼を受けた信者も、この期間をとおして
せっせい かいしん じぶん せいかつ かえ
節制と回心につとめ、自分の生活をふり返ります。

し じゅんせつ にち きかん い み かず あ の にちかんだんじき
四旬節は「40日の期間」という意味です。40という数は、イエスが荒れ野で40日間断食を
ゆらい にち だんじき しゅうかん う じっさい
したことに由来していて、それにならって40日の断食という習慣が生まれました。けれども実際
ふっかつさい にちまえ すいようび はい すいようび し じゅんせつ はじ しゅじつ
には、復活祭の46日前の水曜日(灰の水曜日)から四旬節が始まります。それは、主日
にちようび だんじき しゅうかん はい すいようび きょうかい かいしん
(日曜日)には断食をしない習慣だったからです。灰の水曜日に教会では、回心のしるしとして
あたま ひたい はい はい しき てんれい
頭か額に灰をかける「灰の式」という典礼があります。

だんじき げんざい かんぜん しょくじ た じゅうぶん しょくじ
断食については、現在では完全に食事を断つというよりも、十分な食事を

かんが い か だいさい しょうさい
ひかえることと考えられていて、以下のように「大齋・小齋」があります。
だいさい しょうさい まも ひ はい すいようび せいきんようび ふっかつさいちよくぜん きんようび
大齋と小齋を守る日は灰の水曜日と聖金曜日(復活祭直前の金曜日)、
しょうさい まも ひ さいじつ のぞ まいきんようび
小齋を守る日は祭日を除く毎金曜日です。

- だいさい にち かい じゅうぶん しょくじ あさ かい しょくじ
● 大齋 1日に1回だけの十分な食事とそのほかに朝ともう1回わずかな食事をとるこ
まん さいいじょうまん さいみまん しんじゃ まも
とができ、満18歳以上満60歳未満の信者が守ります。
- しょうさい にくるい た かくじ ほんだん つぐな た けいしき あいとく
● 小齋 肉類を食べないことですが、各自の判断で償いの他の形式、とくに愛徳のわざ、
しんじんぎょう せっせい じっこう か まん さいいじょう しんじゃ まも
信心業、節制のわざの実行をもって代えることができ、満14歳以上の信者が守ります。



(カトリック中央協議会ホームページより引用)

みかさきょうかい れきし ふ かえ
～三笠教会の歴史を振り返る～

しょうわ ねんだい よこすか きょうかい さいしゅうかい
昭和20年代の横須賀カトリック教会(7)*最終回*

さくら い さとし
櫻井達

おおつ きょうかい うた さいとうかまたろう し し き
<大津カトリック教会で歌う 齋藤釜太郎氏指揮>

みかさ しきしゃ ひらた さいとう か おおつきょうかい けんしんしき おお ぎょうじ
三笠の指揮者が平田さんから齋藤さんに代わりましたが、大津教会で堅信式など大きな行事
おこな とき つどみかさ てつだ い うた い みうち きょうかい
が行われる時は、その都度三笠からお手伝いに行き歌ったものです。言うなれば身内の教会
きも おも とうじ いま だれ も つづ
という気持ちです。その思いは、当時のメンバーなら、今でも誰もが持ち続けているでしょう。そうい
し いただ おも い
うことを知って頂きたい思いで、これを入れてみました。

しやしん み きょうかい おも ぎもん
ところで、これらの写真を見て、これが教会?とお思いになりませんか。その疑問もつともなこと
びょういん びょういん か と なか かいしゅう かい せいどう でき した
です。病院だったのですから。病院を買い取り、中を改修、2階に聖堂が出来ました。下に
しさいしつ た へや でき けんしんしき おおぜいせいどう はい な ふあん
司祭室その他の部屋が出来たのですが、堅信式などで大勢聖堂に入るとギシギシ鳴るので不安
いま どうぜんたいしんきょうか はなし て たてもの
でした。今なら当然耐震強化の話が出るほどの建物でした。

おおつきょうかいほっそくじ かかわ おも で
大津教会発足時に関する思い出です。



おおつきょうかい じゅうじか みちゆ がくえ
<大津教会にある十字架の道行きの額絵>

おおつきょうかい みかさせいかにたい かかわ すこ しる げんざい せいどう かか じゅうじか
大津教会と三笠聖歌隊との関りをもう少し記します。現在の聖堂に掲げてある十字架の
みちゆ え せい めずらしい え まい え しきしゃひらた くんどう
道行きの絵、ステンレス製の珍しい絵ですが、この14枚の絵は、かつて指揮者平田さんの薫陶を
う もとせいにたい きよしゆつ せいにたいいん さいとうかまたろう せいさく ねが
受けた元聖歌隊のメンバーが拠出し、これも聖歌隊員だった齋藤釜太郎さんに製作をお願いし
ほうのう ちい みごと さくひん せいさく さいとう かんせいご たいちょう
て奉納したものです。小さいけど見事な作品です。これを製作した齋藤さんは、完成後、体調を
くず せいこん こ せいさく はただしんぶさま ちゅうしん
崩すほどでした。そのくらい精魂込めて製作にあられたのです。それだけ、畑田神父様を中心

ひらた さいとう うた とうじ みかさせいきたい めんめん けっそく かた
に、平田、齋藤というリーダーのもとに歌ってきた当時の三笠聖歌隊の面々の結束は、堅いもので
おも おおつきようかい で きかい ぜ ひ さくひん め む
あったと思っています。もし大津教会に出かける機会があったら、是非この作品に目を向けてみて
くだ
下さい。

せいかにいいん
<ボイラーマンになった聖歌隊員>

しょうわ ねんだい ふっかつ かなら しんや おこな ごぜんれいじ
昭和20年代のクリスマスとご復活は、必ず深夜ミサが行われたのでした。午前零時に
はじ おこな せいどうない しんと いっぱい ねっき み くれ はるさき
始まるミサが行われる聖堂内は、信徒でほぼ一杯、熱気に満ちていました。しかし、暮や春先で
さむ つよ じき ころ じかようしゃぞく ひとたち
すから寒さが強い時期です。まして、その頃は自家用車族なんていう人達はいません。ミサ
しゅうりょうごきたく しんじゃ きんじよ す ひとたち はんすういじょう しんじゃ きようかい こも
終了後帰宅できる信者は近所に住まう人達だけ。ですから、半数以上の信者は教会に籠るので
せいどうない ながいす かみん ひと だんしょう す ひと どうとうさまざま だんぼう
す。聖堂内の長椅子で仮眠をとる人、ホールで談笑しながら過ごす人、等々様々ですが、暖房は
か どうじだんぼう ねつげん てんき せきたん つね
欠かせません。ところが、当時暖房の熱源はガス・電機ではなく石炭です。ですから常にボイラー
かま せきたん ほきゅう ひつよう も がら だ たまたまち か
釜に石炭を補給する必要がありました。また、燃え殻は出さなければなりません。偶々地下にあっ
しつ りんしつ ようちえんかいえんまえ だい お
たボイラー室の隣室は、まだ幼稚園開園前で、ピンポン台が置いてあったものですから、ピンポン
せきたん か で せいかにたい だんし せんもん
をしながら石炭くべを買って出たのが聖歌隊の男子メンバーだったのです。専門のボイラーマンは
りょうじつ じかんいじょうせきたん つづ
いましたけど、この両日は24時間以上石炭をくべ続けなければならなかったのです。これは、
たいへん じゅうろうどう せいかにいいん なんにん せきたん かた
大変な重労働です。そこで、聖歌隊員の何人かが、ボイラーマンから石炭をくべるやり方を
おそ おもしろ たいへん じょうぶ つ
教わり、やることにしたのです。面白かったです。けど、大変でした。ボイラーの上部に付いている
み せきたん かま い たい へいきん い
ゲージを見ながら石炭を釜に入れていくのですが、平らに、平均に入れないとダメなんです。この
へいきん い むずか へた あらわ すうじ さ
平均に入れるというのが難しかったですね。下手をするとゲージに表れる数字が下がって
く かい よくあさ はや まっくろ かお
来るんです。それでも2回のクリスマスでボイラーマンをしましたね。翌朝の早いミサに、真黒な顔
あずか わら おも で
をしたまま与って笑われたことは思い出です。

ねんだい はい しゅうちゅうだんぼうほうしき や
それだけでなく、30年代に入ってからのことですけど、ボイラーによる集中暖房方式を止め、
せいどうない がた お たてもの おお てんじょう たか
聖堂内にだるま型ストーブを置くようになったのです。しかし、建物が大きく、天井が高かった
かんけい だんぼうこうか わる せいどう なか お がた かりよく つね たも
関係で暖房効果が悪く、聖堂の中ほどに置かれただるま型ストーブの火力は、常に保っていない
たまたま せいかにたいせき そば お たきぎ
ければなりません。偶々ストーブが聖歌隊席の傍に置かれたこともあって、薪をくべる
せきにん い つ せいかにいいん てんじょう たか たてもの だんぼうこうか よわ
責任が、何時しか聖歌隊員になってしまいました。天井の高い建物は暖房効果が弱いのは

わ 分わかっていることことです。何時いつか将来しょうらい、三笠教会みかさきょうかいで、また改あらためて聖堂せいどうを建堂けんどうするようようなことことにな
たてもたてもの かつかつこう しょうかんり やす せつび もう
つたら、建物たてものの格好かくこうだけでなく、使用管理しやうかんりし易やすい設備せつびを設もうけてほしいほしいですね。

にが おも て
<苦にがい思おもい出でをひとつ>

いままでいままでつづ ぶんしょう しっぱい の つ かえ ことば
今迄いままで綴つづってきた文章ぶんしょうには、失敗しっぱいしたことを載のせていません。それを突つかれたら返かえす言葉ことばがあり
しかた ひとつ はくじょう
ません。仕方しかたないので一ひとつつだけ白状はくじょうします。

ふっかつ しんやれいじ はじ とうじ せいたい
かつて、ご復活ふっかつやクリスマスしんやれいじのミサはじは、深夜零時とうじから始せいたいめられました。その当時とうじ、ミサせいたいで聖体せいたい
はいりょう ばあい れいじいこう せいたはいりょうご の く ぎゃく い ごご じ ふんまで
拝領はいりょうする場合は、零時以降ばあい、聖体れいじいこう拝領せいたはいりょうご後ごまで飲のまず食くわずです。逆ぎゃくに言いうと午後ごご11時59分迄じ
の く かつて りょう の い ふっかつ
は飲のみ食くい勝手かつです。ですから、これを利用して飲のみに行いったのです。ご復活ふっかつでも、クリスマスでも、
まえ とお れんしゅう れい にち ごご じごろ れんしゅう かいし
ミサれいの前まえに通とおし練れんしゅう習かいしをします。クリスマスれんしゅうを例かいしにすると、24日にちの午後7時頃ごご じごろから練れんしゅう習かいしを開始かいしし、
およ じかん れんしゅう あとしよくじ い だんせいれんちゅう しょくご の い
凡およそ2時間じかんほど練れんしゅう習かいしをした後あと食しよく事じに行いくのですが、男性連中だんせいれんちゅうだけで、食後飲しょくごみに行いったのです。
じまで の く ぐあい
“12時迄じまでなら飲のみ食くいしていいんだろぐあいう”という具ぐ合あいです。

あと うた のんべえ の き れんちゅう
後あとで歌うたわなければなりのんべえませんから、吞兵衛のんべえもほどほどにのしていまきしたけど、飲れんちゅうんで来きた連中れんちゅうの
かお ま か きょうかい かえ おとこ み じよせい へん おも
顔かおは真まっ赤あかです。教会きょうかいに帰かえってきた男おとこどもを見た女声みメンバーじよせいは変へんだな、と思おもったようようですけど、
とき なに い
その時ときは何なにも言いいませんでした。

ごぜんれいじ はじ しいにゆうどう どうじ
やがて午前零時ごぜんれいじ、ミサはじが始しいにゆうどうまりました。司祭入堂どうじと同時どうじに Dominus dixit ad me・・・とクリス
しんや うた にゆうさいしやう うた はじ とき
マス深夜しんやミサうたで歌にゆうさいしやううグレゴリアンうたの 入祭唱はじを歌ときい始めときました。この時ときはまだよよかったのです。しか
つづ うた つづ うた なに れんしゅう とき
し、続つづいて歌うたったキリエなにとそれれんしゅうに続ときくグローリアときでおおかしくなりました。歌うたってないて何なにか練れんしゅう習ときの時ときと
ちが とうじ だいしゆくじつ つうじやうぶん い かしよ
違ちがうんです。当時とうじ、大祝日だいしゆくじつともなるとキリアーレつうじやうぶんなり、ミサい通常文かしよと言いわれている個所かしよは、
がっしょうきよく はな きよく うた つね みな は き うた とき
合がっしょうきよく唱はな曲きよくで華うたやかな曲つねを歌みなうのが常はできでしたから、皆うた張きり切うたって歌ときうのです。それときなのに、この時ときに
かぎ がっしょう いっしよ うた じよせいぐん の
限かぎってハモがっしょうらないんです。つまり、合いっしよ唱うたにならない。一じよせいぐん緒のに歌のっている女声群じよせいぐんは飲のんでいません。
へん おも とちゅう や わけ うた つづ お
変へんだと思おもっても途とちゅう中やで止わけめる訳うたにはつづいきません。それでも歌おい続つづけました。しかし、ミサおが終つづわった
とたん じよせいぐん ばくはつ なん きやう うた せっかく
途端とたんに女声群じよせいぐんが爆ばく発はつしました。「何なんなの!今日きやうの歌うたは!」「ななんってななかったうたじゃない!」「折角せっかくのクリ
さんざん の まちなか
スマスミサさんざんだというのに!」・・・いやもう散の々まちなかでした。これ、どこで飲のんだんでまちなかしょうね、街中まちなかだっ
しょうわ ねんとうじ おおつかいがん おおつかんこう あそ の おぼ
たか、昭和30年当時しょうわ、大津海岸ねんとうじにあった、大津観光ホテルおおつかいがんで遊おおつかんこうびながら飲あそんだのか、覚のえていま
ご だんせいぐん こころ い か まえ の せいしゆんじだい
せん。その後ごは男声群だんせいぐんも心こころを入れ替いえ、ミサか前まえには飲のまなくなりました。いせいしゆんじだいうなれば、青春時代せいしゆんじだい

ひと になが おも て
の一曲マですけど、苦い思い出です。

おわ
＜終りに＞

しょうわ ねんだい みかさきょうかい どうこう おも はじ ぶん しゅうちゃくてん ちか
昭和20年代の三笠教会の動向をと思いながら始めたこの文も、終着点に近づきました。
ないよう せいかたい なが ぞく せいか かか ひじゅう
内容として、聖歌隊に長く属していたせいか、聖歌に関わることに比重がかかったきらいはあると
おも てん りかいいただ
思います。その点をご理解頂きましょう。

なが うた つづ うた かずかず とく ご せいか だいに こうかいぎいこう
しかし、長らく歌い続けてきた歌の数々、特にラテン語聖歌が、第二ヴァチカン公会議以降、
おお きょうかい うた い ざんねん とく せいか
多くの教会で歌われなくなってきたのは、はっきり言って残念です。特にグレゴリオ聖歌はカトリ
きょうかい たから だいだい さま もう きかい うた おっしゃ
ック教会の宝であると、代々のパバ様は申しいらっしゃる。機会があれば歌いなさいとも仰
けつ きんし わけ しいてき せいか ふく
っています。決して禁止された訳ではないのです。それなのに、恣意的にグレゴリオ聖歌を含む
ご せいか きんし せいかたい かいさん しんぶ
ラテン語聖歌を禁止し、聖歌隊を解散させた神父が、あちこちにいました。このようなことは、パ
さま しどう さか けつ みと しさい しゅうどうし
パ様のご指導に逆らっていることであり、決して認められるべきものではありません。司祭、修道士、
しゅうどうじょう しどうしゃがわ もちろん せいかたい しんじゃ ころえ
修道女等の指導者側は勿論のこと、聖歌隊のメンバーも、また信者も心得ていてほしいのです。

せいか うた いの かみ さんび うた にゅうしん どうき あた
聖歌は歌による祈りです。神を賛美して歌うのです。だからこそ入信の動機を与えるほどの
かんどう あた はんしゃてきりえき ことば ぎやく
感動を与えるのです。反射的利益という言葉がありますけど、それでいいではありませんか。逆に
かいしゅうさんび うた ことば き さんび たいしやう にんげん
会衆賛美の歌という言葉を知ることがありますけど、それでは賛美の対象が人間になってしま
わたしたち ぞく きょうかい おし
います。それは私達が属しているローマカトリック教会の教えにないことです。

うた うた つづ かぎ わす さ ほろ ぜったい
歌は歌い続けられない限り、忘れ去られて滅びます。これは絶対あってはならないことです。ローマ
きょうかい しほう じんるい ぶんかてきしほう せいか
カトリック教会の至宝であるばかりか、人類の文化的至宝といわれているグレゴリオ聖歌を
うた つづ うた つ きょうかい しんじゃ ぎむ おも ぜひ おお
歌い続け、歌い継ぎしていくことは、教会の、そして信者の義務だろうと思っています。是非、多く
かたがた りかい きょうりよく え きょうかい たから ふたた ひか かがや ねんがん
の方々のご理解とご協力を得て、教会の宝を再び光り輝くものにしていきたくと願
おも ひとりわたし ねが
っています。この思い、一人私だけでないことを願っています。

つづ ないよう ほんん しょうわ ねんごろ しゃしん きおく たよ
綴ってきた内容は、殆どが昭和30年頃までのことです。写真と記憶に頼り、また、かつて、
よこすかみかさ きょうかいほっこう げっぽう の ぶんしやう み おも て
横須賀三笠カトリック教会発行の月報“みかさニュース”に載せた文章を見ながら、思い出のひ
ぶん まと くわ こうきこうれいしゃ げんざい いだ つづ
とこまとでもいべき文を纏めてみました。加えて、後期高齢者となった現在でも抱き続けている
おも かみ ふくざつ こうさく りかい ねが
思いを加味してあります。それらが複雑に交錯していますけど、ご理解のほどお願いいたします。

やくわりぶんたん しごと しょうかい
役割分担・お仕事の紹介

みかさきょうかい やくわりぶんたん ひごろ おお かた わたし きょうかい
三笠教会には役割分担があり、日頃から多くの方が私たちの教会のために
はたら しごと たんとう かた はなし うかが
働いてくださっています。それぞれのお仕事を担当されている方にお話を伺いし、
しごと しょうかい
どんなお仕事をされているのか紹介しています。

けっこんしきてつだ
結婚式手伝い

おも かつどうび けっこんしき とき かかり えのもと さだこ
主な活動日： 結婚式の時 係： 榎本 貞子

けっこんしき し いただ しんぶさま ふたり しきしだい うかが
結婚式のお知らせを頂きましたら、神父様からお二人の「式次第」を伺い、
かかり よび びおよ どうじつ じゅんび う あ しき かかり さんか ふたり
係は予備日及び当日の準備の打ち合わせをします。式には係も参加してお二人の
しあわ ねが とも かみ かんしゃ
幸せを願い、共に神に感謝します。
こんねんど かかり ぼしゅう てつだ ひとり おお
今年度も係の募集をしています。とてもすてきなお手伝いですので、一人でも多くの
さんかしゃ ま
参加者をお待ちしています。

かいけい

会計アドバイザー

おも かつどうび つき かいていど
主な活動日： 月1回程度

かかり うめざわ よしかず
係： 梅澤 義一

かくしやうきやうく まいつきげんきん よきん すいとうきろく いちらんひやう しきやうかん ていしゆつ しきやうかん
各小教区は毎月現金・預金の出納記録を一覧表にして司教館に提出し、司教館でそれを
にゆうりよく ちやうぼ さくせい いちらんひやう きやうく さくせい しよりゆうりやう したが
入力して帳簿を作成します。この一覧表は、教区で作成したマニュアルや処理要領に従い
きやうかい じ む さくせい まいつきいちらんひやうさくせい お しきやうかん ていしゆつ まえ かいけい
教会事務が作成します。毎月一覧表作成が終わると、司教館に提出する前に会計アドバイザー
かくきさいこうもく ただ りやうしゆうしよなど いっけん しやうごう かくにん きやうかい じ む そうだん
一は各記載項目が正しいかを領収書等と一件ごとに照合し確認します。教会事務の相談に
の げんきん よきん ざんだか かくにん かね きそく したが しゆうし
乗ったりすることもあります。現金・預金の残高も確認します。お金は規則に従ってきちんと収支
かんり じゆうやう
され管理されることが重要です。

じやうき とお しごとないやう かくにん しゆ かいけい い
上記の通り、仕事内容は確認が主なので、会計アドバイザーが居なければならないということ
きやうかい じ む す かのう ふくすう め ないやう かくにん せいかく
ではなく教会事務だけで済ませることも可能です。ただ、複数の目で内容を確認すれば正確さ
ま わたし しごと けいりかんけい しごとないやう とく むずか
が増すということです。私の仕事が経理関係でしたのでこの仕事内容は特に難しいものでは
ありませんでしたが、マニュアルが整備されているので初めての人でもこなせます。分からない時
きやうく せんもんか お おし もら かのう
には教区に専門家が居られますので、教えて貰うことも可能ですし。

ひ つ ねん つき いちどごぜんちゆう つか しごと き とき
引き継いでかれこれ8年になります。月に一度午前中を使つての仕事ですが、決まった時に
がいしゆつ きぶん しごと ないやう あたま たいそう
外出すると気分がシャキッとしますし、仕事の内容で頭の体操にもなります。
げんえき はな ひと む しごと おも
現役を離れたような人には向いている仕事だと思います。

八重樫信之写真展

これまでは、今日のために

—ハンセン病 23年の記録—

会期：2021年3月15日（月）～3月27日（土）
10：00～19：00
21日（日）は展示休み、最終日27日（土）の展示は12：00まで

会場：カトリック横須賀三笠教会聖堂
横須賀市稲岡町82-4 電話046-823-0042

主催：カトリック横須賀三笠教会

講演と解説：3月27日（土）13：30～15：00

